

## 記者発表（資料配付）

月／日	担当課（係名）	電 話	発表者名 （担当課長名）	その他資料配付先
3月29日 （金）	歴史博物館 ひょうご歴史研究室	079-288-9011	次長（副室長）豊田幸雄 研究コーディネーター 坂江 渉	県教委記者クラブ 中播磨県民センター

### 兵庫県立歴史博物館ひょうご歴史研究室編 『ひょうご歴史研究室紀要』第4号の発行について

#### 1、趣旨

平成27年（2015）4月、兵庫県内の歴史文化の調査研究のため、兵庫県立歴史博物館内に「ひょうご歴史研究室」が開設されました。研究室では、館内外の博物館・資料館・大学・民間団体の方々と協力して、①『播磨国風土記』、②赤松氏と山城、③たたら製鉄について研究しています。

開設4年目の今年度は、館内外における横断的な研究を推進しました。その結果、播磨における「たたら製鉄」から近代製鉄への展開や「刀剣」の生産と流通のあり方、あるいは淡路の地域史研究分野で、いくつかの成果をあげることが出来ました。本号ではそうした成果を、合わせて9本の論考として掲載しています。

#### 2、第4号のコンテンツ

▼『ひょうご歴史研究室紀要』第4号の刊行にあたって／藪田貫（館長兼室長）

##### ▼論文

□『播磨国風土記』研究班

・「仲野安雄の『淡路常磐草』と関連史料群」／古市晃（客員研究員）

□赤松氏と山城研究班

・「赤松居館跡の発掘調査成果について（略報）」／島田拓（共同研究員）

・「千種鉄の流通と刀剣」／大村拓生（歴史研究推進員）

□たたら製鉄研究班

・「たたら製鉄から近代製鉄へ」／土佐雅彦（共同研究員）

##### ▼歴史遺産活用

・「淡路島日本遺産の活用」／竹内通弘（洲本市長）

・「利神城跡の史跡指定とその活用」／藤木透（共同研究員）

・「千種鉄によるたたら製鉄復元の取り組み」／藤田淳（研究員）

##### ▼フィールド・レポート

・「『播磨国風土記』写本調査報告（三）」／垣内章（客員研究員）

##### ▼ひょうご歴史研究室活動記録

・『播磨国風土記』研究班／赤松氏と山城研究班／たたら製鉄研究班

#### 3、仕様・発行部数・配付先等

仕 様：A5版 112ページ

発行部数：800部

配付先：県内の公共図書館、歴史系博物館、教育委員会文化財課、大学図書館など。（個人への販売はなし）

※4月以降、ひょうご歴史研究室ホームページ上にPDFにて公開。

#### 4、問合せ先

〒670-0012 兵庫県姫路市本町68番地

兵庫県立歴史博物館 ひょうご歴史研究室

TEL 079-288-9011

<ひょうご歴史研究室ホームページ> <http://www.hyogo-c.ed.jp/~rekiken/>